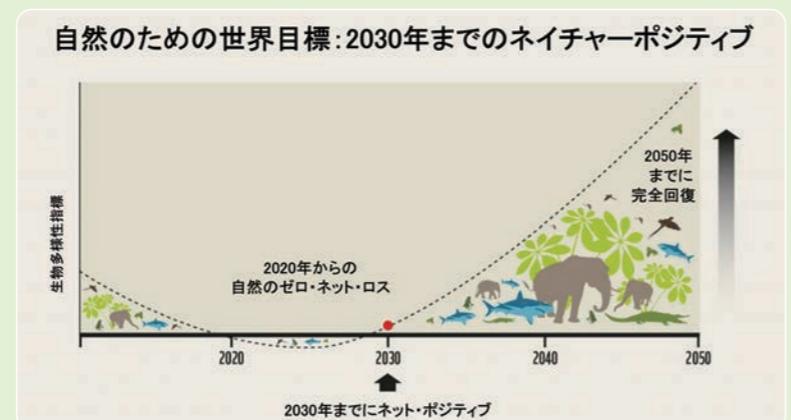




企業・団体に求められるネイチャーポジティブの動き

人間活動に由来する温暖化による気候変動や森林の伐採、希少動植物の捕獲や密猟、廃棄物の投棄等は、急速な生物多様性の損失の要因になっています。また、1970年以降に失われた世界の野生生物は約70%とされ、絶滅の危機にある生物は約4万種にのぼります。この生物多様性の損失は、食糧生産や薬剤製造など様々な分野で私たちの生活にも影響を与えると考えられています。

このような状況に歯止めをかけようと、「昆明・モントリオール生物多様性枠組^{*1}」などの国際的な取組により2030年までに生物多様性の損失を反転させるための行動が推進されています。企業においてもTNFD^{*2}に基づく情報開示やネイチャーポジティブへの貢献が求められています。また、業種を問わず生物多様性保全への取組を怠ることは、経営上のリスクにもなり得ます。



2030年までのネイチャーポジティブへの軌跡
出展:IUCN日本委員会 https://www.iucn.jp/explanation/nature_positive/

*1 昆明・モントリオール生物多様性枠組とは、2022年12月にカナダのモントリオールで開かれた生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採抲された、生物多様性に関する世界目標のひとつ。これまで曖昧だった2030年までの中期目標に数値目標が掲げられた。

*2 TNFD(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures(自然関連財務情報開示タスクフォース)の略)とは、生物多様性や森林・海洋など自然環境全体に関する財務情報を、企業・団体が開示することを推奨する枠組。



税制上の優遇措置

当協会は神奈川県知事により公益財団法人の認定を受けています。当協会の公益事業への寄付金には、特定公益増進法人としての税制上の優遇措置が適用されます。詳細はお問い合わせください。



寄付特典

ご寄付いただいた方へ感謝状をお渡しします。

そのほか金額等によって、活動レポートの発行、広報媒体への掲出、保全活動への参加等の特典が受けられます。詳細はお問い合わせください。



寄付の申出方法

下記お問合せ先、または次のフォームからお申込みください。後日、担当よりご連絡差し上げます。

URL <https://hama-midorinokyokai.org/contact/details/midorinokyokai.shien.php/>



FAQ

Q インターネットで寄付の申し込みができますか？

A 横浜市緑の協会ホームページ「寄付のご案内」ページの専用フォームをご利用ください。

URL <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kyokai/donation/>



Q 寄付金の用途は選べますか？

A 「公益目的事業全般」のほか、「緑化推進事業」「公園事業」「動物園事業」の各事業からご指定いただけます。

Q 寄付の申込期間はありますか？

Q 物品での寄付は可能ですか？

A 期間はありません。

A 下記の問合せ先にご相談ください。

公益財団法人横浜市緑の協会

神奈川県横浜市中区日本大通58 日本大通ビル2階

●お問合せ先

(公財)横浜市緑の協会 総務課 045-228-9420(代表電話) 平日9時~17時

FSC認証

横浜市SDGs認証制度
Y-SDGs
-supreme-



ヒト、いきもの、みどり ともに歩む未来のために

～持続可能な生物多様性の保全に向けたご寄付のご案内～



私たちは都市の緑化や生物多様性の保全に関する事業を行っています。

豊かな地球・横浜の自然・緑を未来へ引き継ぐために、皆様のご寄付が必要です。

持続可能な未来へ繋ぐため、緑の協会へのご支援をお願いします。

地球は、まさに危機的な状況にあります。気候変動や森林減少に起因する、猛烈な夏の暑さなどが私たちの生活に影響を及ぼしています。

人間の活動による影響で、地球の限界「プラネタリーバウンダリー^{*1}」を超え、元の状態に戻れなくなることへの危惧に対して、大都市横浜に住む私たち一人ひとりが積極的に取り組むことが必要です。

→ 詳細は裏面「企業・団体に求められるネイチャーポジティブ^{*2} の動き」

持続可能な未来へ繋ぐための私たちの役割

・ネイチャーポジティブ (30by30^{*3})

・自然環境に配慮した企業活動

・環境と共生するライフスタイル (環共市民^{*4})

緑の協会の取り組み

緑化推進事業では、地域の花緑空間を支える市民団体への支援



公園事業では、身近な生物多様性を守り、育む活動の推進



動物園事業では、国内や世界の生物多様性を守り、育む活動の実践



持続可能な未来へ



いただいた寄付の使いみち

»» 地域の花緑空間を支える市民団体への支援

»緑化推進事業

市内で緑化活動に取り組む市民・団体を支援し、都心部の花緑空間を形成することで、緑を感じる生活を創造します。



»» 身近な生物多様性を守り、育む活動の推進

»公園事業

市内の公園や動物園に生息するいきもの調査の実施や環境整備、教育活動を推進し、身近な生物多様性の保全に取り組みます。



»» 国内や世界の生物多様性を守り、育む活動の実践

»動物園事業

国内外の関係団体と連携し、希少な野生動物を保全するために、動物園の飼育環境の改善や環境教育活動の実施により、世界の生物多様性保全に取り組みます。



*1 プラネタリーバウンダリーとは、地球環境が人間活動による影響が加わっても元の状態に戻り、安定した状態を保てる限界の範囲

*2 ネイチャーポジティブ(自然再興:Nature Positive)とは、悪化し続ける生物多様性の喪失を食い止め、プラスに転じるように回復させる考え方

*3 30by30 とは、2030年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

*4 環共市民とは、環境と共生する市民の皆様